湊川相野学園

ニュース

発行:2021年2月 湊川相野学園理事長室会 No.

ひとを育て、ともに歩んで100周年 MINATOGAWA

since1919

湊川短期大学

「湊川バレンタイン〜チョコと感謝を届けよう〜 オンライン抽選会」開催しました

昨年はコロナ禍ということで、例年11月に開催される湊成祭(大学祭)が、中止となっておりましたが、その代わりとして2月1日(月)学園創立記念日に学友会企画のイベント「湊川 愛の(相野)バレンタイン~チョコと感謝を届けよう~」を計画しておりました。ところが、それも緊急事態宣言を受けてやむなく中止となってしまいました。しかし学友会役員は、



学生生活を少しでも楽しんでもらうために今自分たちにできることを考え、急遽オンラインで抽選会のみを開催しました。 当日「湊川バレンタイン~チョコと感謝を届けよう~オンライン抽選会」として、オンライン授業で慣れ親しんだツールの Teamsと学生自身のスマホ・ノートPCを使って、会場の本館401教室から自宅にいる学生へオンラインで配信されました。

今年度オンライン授業の成果なのか、学生たちは実にうまくTeamsを使いこなして、司会者はスクリーンに映し出された配信映像を見ながら自身の動きをチェックし、教室外で視聴しているスタッフは司会者へ的確に指示を出し、教室内は音響スタッフや盛り上げ役のスタッフ、当選者への連絡スタッフなどそれぞれが役割分担を行い、教室がテレビの撮影スタジオになったように感じました。抽選会最後の特賞ではTeamsの「挙手」機能を使った参加者からのリアクションも加わり、距離は離れていても笑顔がつながったひと時となりました。

三田松聖高等学校「コロナ禍の卒業式、保護者会場にライブ中継」



令和 3 年 2 月 19 日 (金)、『第 68 回卒業証書授与式』が本校記念体育館にて行われ、卒業生 271 名が無事学び舎を巣立ちました。

当日は緊急事態宣言が継続される中で、規模を縮小して実施。例年、前日に行っていた予行は中止し、記念品贈呈式は卒業式に組み込みました。来賓は、学園長・後援会会長・同窓会会長のみが臨席、式典中はできるだけ発声を控え、呼名の返事や歌うことをしない徹底した感染対策を心がけました。式典のクライ

マックスとなる答辞は、卒業生代表の中山裕貴さんが3年間の成長や学園そして保護者への感謝

の気持ちを述べ、不撓不屈の精神を大切に未来へたくましく歩んでいくことを約束しました。

また、ソーシャルディスタンスを確保するため、湊川短期大学の第一体育館に保護者席を設け、ライブ中継をご覧いただきました。舞台上の大型スクリーンに3台のカメラで映し出されたお子様達の晴れ姿を、ビデオや写真に収める方も多く見られました。 本当にありがとうございました。



附属北摂学園幼稚園「生活発表会」「剣道あそび」

緊急事態宣言下の状況ではございましたが、子どもたちの遊びの集大成をご覧いただきたく、 観覧人数制限等ご協力いただきながら、無事に、開催することができました。

子どもたちはマスクをつけて活動をするので、表情こそ伝わりにくいものの、体の動きや、 目力、言葉やうたでしっかりと表現し、友だちと協力したり、自分の役割を果たしながら、クラス 毎の劇遊びを進め、立派な姿を見せてくれました。





年長組は、この2月が最後の剣道あそびでした。遊戯室には、「1、2、め~ん!」の声がひびき、本物の竹刀の重たさにもなれ、打ち込み台の横山君にもいさましく挑みます。

気持ちを引き締め、精神を統一した子どもたちからは、もうすぐ1年生になるぞ!という たくましさが感じられました。